

幼児の実態

大きい集団の中では指示が分かりにくい。

☆手立て

- ロッカーや段ボールの衝立で部屋を仕切る。
- 10名から15名の小集団で生活、活動をする。
- 一つのグループが集会などを行っている時は、もう一つのグループは制作などの静かな活動をする。
- 時間と空間をうまく利用することで落ち着いた雰囲気の中で活動できるようにする。

支援を受けてみて

- 本児のためのコーナーで安全の確保やプライベートが守られる（成長や状況によりガードの高さや場所を変更する）。マットに寝ころぶなど座位以外の体位で過ごせる。
- バギーにガードや座椅子の使用で他児と関わりながら遊びや生活ができる。
- みんなと同じメニューが食べられる。